

わがかしわ

柏市の人口 45.2.28現在
人口 144,737
男 73,939
女 70,798
(前月比 340増)
世帯 38,281
(前月比 169増)

ご利用ください
公益質屋
一口2万円
一世帯5万円まで
利子は月3歩

誕生七年を迎える

家庭教育学級

“成人教育に著実な歩み”

明るく青少年の育成には、家庭教育が一番といわれていますが、この家庭教育を組織的・体系的に進めようとして柏市で「家庭教育学級」が誕生してから六年たちました。この間、小中学校のPTAや幼稚園などを単位に、毎年十に近い学級が開講され、日頃の家庭生活の中で、必要な知識や技術の実際を通して、子どもの教育に親がどうあるべきかを学習してきました。

今年度は、小学校五級、幼稚園四園、中央家庭学級と十の学級が開講され、去る二月十七日には各学級の実践をもとに研究協議会が開会されましたが、この報告を中心に、家庭教育学級の概要をこの号で紹介しましょう。

学級の運営基本

家庭教育五原則で

この学級は、毎年学校や幼稚園などからの開設希望により選定して、一年を単位に開設しますが、運営はPTAや母の会などの成人教育の一環として行なわれます。学習テーマは、受講生や関係者の話し合いで決められますが、その基本として、家庭教育に必要な五原則を取上げています。これには、

- ①夫婦が円満であるか②家庭が思いの場になっているか③家庭の雰囲気が社会に向いているか④家庭経済安定のための努力がなされているか⑤夫婦ともに子弟の教育の責任を分担しているかがあげられています。

この五原則を実際の学級運営で



熱心に講師の話に聞き入る受講生

連続四年 開設も

現在開設している学級の中にはすでに四年も連続して開いている所もあり、一回開設した所では、ぜひ連続して開きたいという希望が強く出ています。

これは、学級への期待が非常に大きく、また、親しまれやすい運営が行なわれているためですが、実際に参加した学級生の中から、郷土をよよく知ることができた、家でのしつけや学習指導が思いつき、特に実質的な話し合いの時間を多くし、相互研修を進めることをモットーに進められています。

柏駅東口交通規制実施

車輛乗入れやバス乗降にご注意

二月十五日号でお知らせしたように、柏駅東口工事にもなると、柏駅東口による交通規制を実施しています。

これにより、東口駅前への車輛乗入れの制限やバス、タクシーの乗降場が次のように変更になっていますので、ご利用の際おまわりのないようご注意ください。

規制時間と車輛の通行

今回の交通規制時間は、平日は午前六時から八時まで、午後五時から七時まで、また日曜・祭日は午前十時から午後五時までです。この時間内では、駅前十字路から駅方面へ向う車輛はすべて通行禁止になっていますのでご注意ください。

また、規制時間外の駅前通り車輛乗入れは、丸井百貨店前の停止線までとなり、駅前広場のUターンはできません。旭町踏切方面へ抜けることになりました。

市街化区域と市街化調整区域

県素案で公聴会、六人が公述

新しい都市計画法にもとづく市街化区域と市街化調整区域の県素案が、去る一月二十三日に告示されましたが、これにもとづいて、二月二十六日、市民会館で公聴会が行なわれました。

この公聴会には、区域区分の素案について、一般の方から意見を寄せられた方も多く見られ、市街化調整区域の指定については、現状をよく理解し、今後の当該区域が工場

三月定例市議会開会

45年度予算案など審議

三月定例市議会は、去る九日から開会されました。

今議会では、昭和四十五年定例案など四十三議案(三月六日現在)が提案審議されますが、このうち、主な議案は次のとおりです。

- 財産の取得について(市民会館用地として柏下東一〇七七〇七、七百七〇七平方メートルを譲渡するもの)
- 字の区域及び名称の変更について(駅西口周辺の住居表示実施のためのもの)
- 国民健康保険法の一部改正に際して(助産費の改正と高令者に給付付加金支給のためのもの)
- 市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部改正について(新市田青年館設置及び管理に関する条例の一部改正について)
- 敬老年金給付条例の一部改正について(敬老年金現行二千五百円を三千円に改めるもの)
- 心身障害児福祉手当支給条例の一部改正について(心身障害児手当の引き上げにともなうもの)
- ねたきり老人福祉手当支給条例の制定について(六十五歳以上のねたきり老人に月額千円の福祉手当を支給するもの)
- 市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部改正について(定員百名の増設保育園設置にともなうもの)
- 有線放送電話に関する条例の廃止について(有線放送電話事業の廃止にともなうもの)
- 昭和四十五年一般会計予算について(四十八億三千九百九十九万九千九百九十九円を定めるもの)
- 昭和四十五年国民健康保険・公営住宅事業・西口十地区調整区域・下水道・地域開発・東口駅前都市再開発など六事業の特別会計予算について(特別会計事業予算合計十八億三千九百九十九万九千九百九十九円を定めるもの)
- 昭和四十五年水道事業会計予算について(六億一千三百四十四万九千九百九十九円を定めるもの)

米の生産調整

柏市目標 一〇五ヘクタール三九八トンを

米の生産は、作付面積の増加、栽培技術や農薬の普及などによって生産量が年々増大し、恒常的な過剰状態になっています。

すでに新聞、テレビ、ラジオなどで報道されているように、この需給の不均衡を改善するため、昨年度から生産調整が実施され、他作物への作付転換、休耕が進められています。

昭和四十五年産米については、全国で百万トン以上の生産を減少する目標で推進され、千葉県は生産目標数は三万四千二百トン、面積にして七千九百六十四ヘクタールに引き下げられています。

柏市では三九八トンを、百五ヘクタールが目標とされました。この数字は、現在の市域の水田面積三十五ヘクタールの約一〇〇％にあたります。

生産調整の方法は、転作、休耕とあり、原則として一枚の水田を単位とし、転作の場合以外の作物を作るほか、林地又は養蚕地、さらには畜舎等農業生産に必要な施設の設置も含まれています。

これを実施して交付される「米生産調整補助金」の額は、転作、

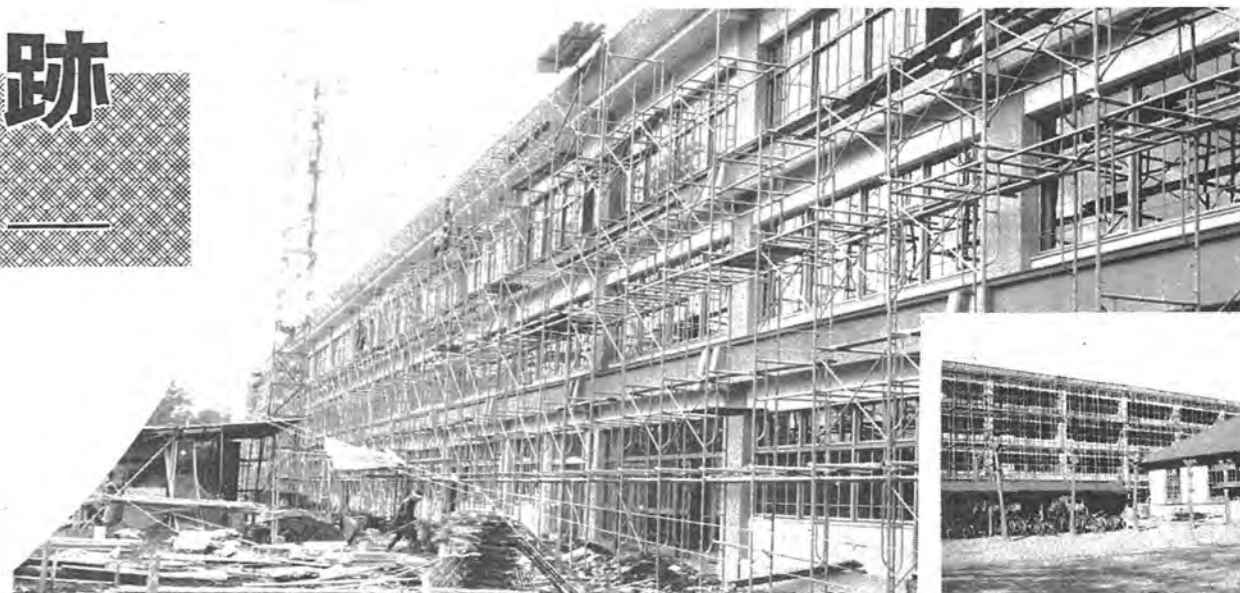
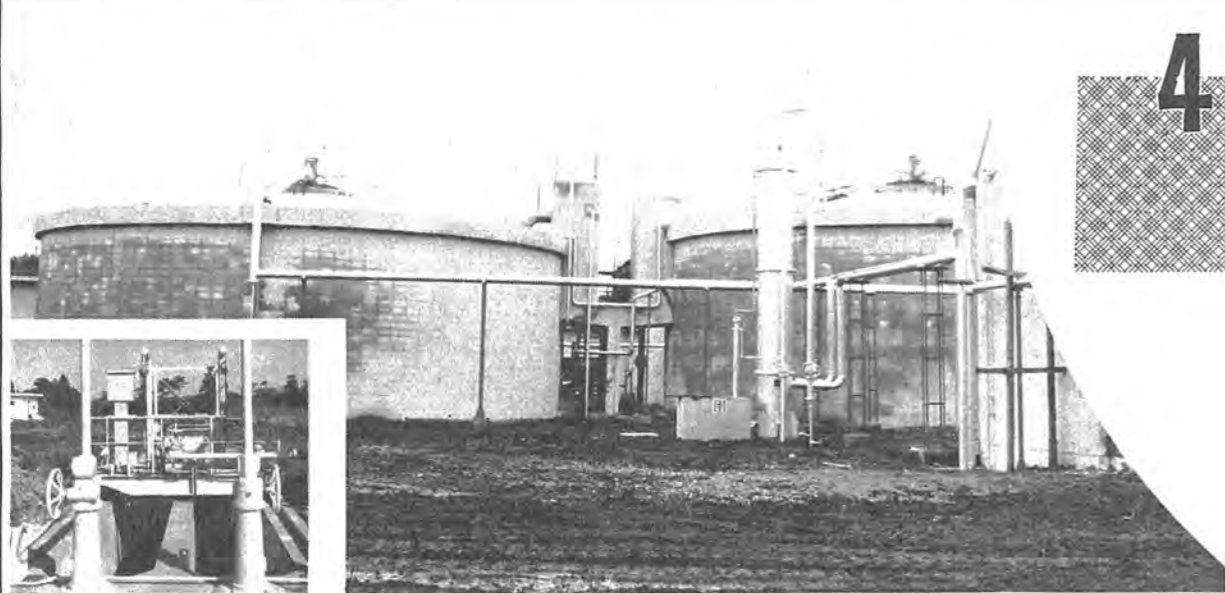
は素案では、柏市の今後の発展に必要な区域区分がなされ、特に北柏地区が市街化区域に入れられ、現状と将来の分析にわたったものであるが、南部地区については、同地区の発展に必要と思われる区域調整のために必要と思われる区域調整の意図を述べられました。最後にたつた柏市保善会(戸井 農業)は素案には賛成であるが、十一年二工団地周辺が調整区域であるため、工場従業員の住宅がたつたらないなど二部手直しを必要とする部分もあり、区分の決定などを含めた今後の都市計画には、国・県・市が一体となった計画的、機能的に進められるよう要望したいと述べられました。

この素案は、こうした意見や市町村の意見を聴取したうえで千葉県都市計画地方審議会で審議され、建設大臣の認可を得て知事が決定することになります。

| 期間 | 交通事故 |
|-----------|----------------------------|
| 2月16日~28日 | 市内 死者0、負傷39 市外 死者0、負傷33 |
| 累計 | 死者136、負傷192 |
| 昨年同月 | 死者1、負傷159 |

44年度建設の足跡

— 主な建設事業を見る —



市開港十五年を契機、ますます活躍する市勢に処し、四十四年度においても各方面にわたって、着実に都市づくりを進められてきました。

この中で、三十万都市をめざす市の門口である東口都市開発事業が着々と推進され、都市の発展に大きく寄与するものと見られます。また、国道の整備や北柏駅跡の設置など、市の発展を著しけるものも加わり、躍動的な青年都市の姿があらわになってきました。

こうして、市民生活の安定のため、教育、民生、土木を中心として、きめ細かな施策を推進してきました。

子ども達の安全確保、保健衛生の向上、新しい都市づくり、環境の整備、市内体育館の建設、校舎の新築、保内体育館の建設、新しい都市づくりは、安全設備を備えた道路の整備、上、下水道の整備、住居の整備、市営住宅の建設、そして地域開発などがあげられます。

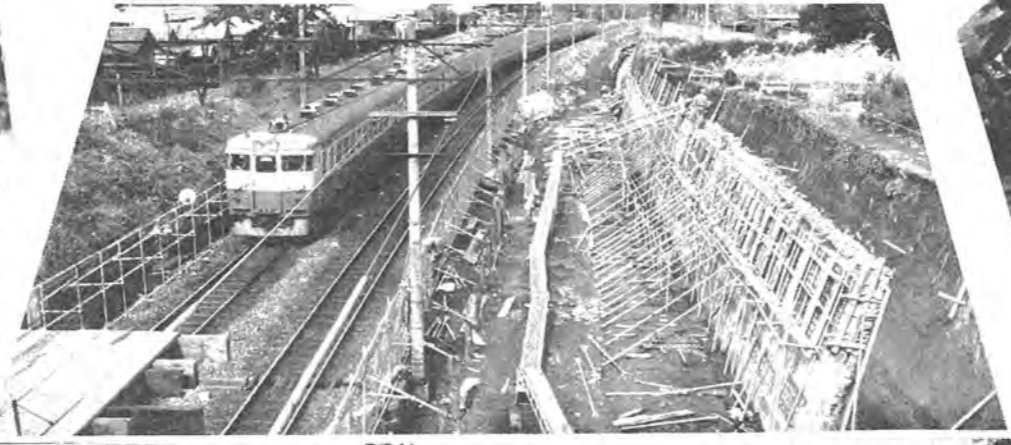
安全な市民生活のためには、交通安全設備の整備、交通信号機の増設、歩道の整備が図られました。

青少年の活動の場には、働く若人の施設、青少年センター、地域の活動には青年館を建設しました。

市民のスポーツ活動のセンターとなる総合運動場が完成し、文化活動は図書館や各種の社会教育施設がはかばかしく進められています。このように、進歩が著しいです。



(写真上) は二年級修業として昨年三月完成した、一九九キロリットル処理の第二処理場と、公害のない遊園地を目指す十ヶ年工場の建設地(柏内) (写真下) は住宅開発が進行中の地区のため、七番目の保育園として完成した尾尾保育園(写真右) はまもなく完成する市営住宅、元坂に遊歩道が完成。



(写真上段) 46年3月完成を目前にすすんで進められている常盤線複々線化工事(市内千代田橋附近) (写真下段左) 去る1月10日開所した東口周辺市街地再開発地事務所では新しい市街地づくりに取り組んでいます。 (写真下段右) 東口再開発の中心となる駅前新線は、完成を目前に工事が進められています。



児童生活の豊かに処して、教育施設の整備を進めています。四十四年度は、小中学校校舎新築事業は、七百五十五教室のほかに、この年には四月開校の新設第七小学校もありました。保内体育館三校に、プールを二校、また児童遊園地の増設も完了しました。県内でも有数の大規模な第三小学校を、適正規模とする分譲地建設用地も取得しました。(写真上) は四月開校の第七小学校、柏内田中の新築(写真左) は新築した第五小体育館と(写真下) は柏小校舎と併設する特別教室の授業です。



子ども達が交通安全の心配もなく、楽しく遊ぶように、子どもの遊び場を毎年設置して、すでに八ヶ所が完成しています。四十四年度では、増尾、柏園の二ヶ所、遊具や砂場を備えて開所しました。(写真左) は子どもたちが仲良く遊んでいる増尾公園の遊び場



市街改良工事は、進学道路や幹線道路の全線にわたって、整備を進めています。海や鉄道、学校付近では児童遊園地を、カーブの設置を進めています。(写真右) は整備の完了した市街地(写真左) は遊歩道の完了した市街地(写真左) は児童遊園地の完了した市街地(写真左) は児童遊園地の完了した市街地



四十年度の市民プールと続く市民のスポーツ施設、総合運動場の完成は昨年の七月でした。完成された各施設では、スポーツ教室や、小中学校の運動会、市民体育祭を多岐にわたって進められています。(写真右) は、マニッパレ大会で優勝する児童選手



小学校児童交通安全隊から守るために、安全施設をはじめ通学交通安全隊員による登下校時の街頭指に力を入れておられます。一方、学校の交通安全教育も重視し、すでに柏小、柏小、常盤などには施設を設けました。(写真左) は柏小に設置された交通安全教育センターで熱心な指導を受ける生徒達



昨年六月、お祭り気分づくりにあつたとき、体の不自由な方の相談、訓練のために、大広間、会議室、浴場を備えた社会福祉センターが開所しました。(写真右) は老人や体の不自由な方に利用されている社会福祉センター



四十四年度から開始された土木第一工区、要計画の年度事業として、総額一億七千万円が投じられました。(写真右) は改修工事、柏内体育館の改修工事。公共上では、第一期計画の北、西、南、東を四十四年度完成を目標に工事を進め、四十四年度、幹線線の整備建設約三百メートル、総事業費は五千五百円に達しています。(写真左) は排水処理場工事



ご利用ください 中小企業設備近代化資金

先号でもお知らせしましたとおり、県では、昭和四十四年度中小企業設備近代化資金の貸付を四月十五日まで募集しています。

対象業種は、製造業、建設業、運送業、サービス業、クリーニング、公衆浴場、カー写真現像機付業、小売業（水産物、食肉、青果物小売業）、公務衛生業種その他特別承認業種を含みます。

貸付条件は、貸付の対象となる設備の購入代金の五十パーセント

(但し、貸付限度額は、五百万円まで)を一括貸付、四年償還、無利息で貸付します。

借入れを希望する方は、市役所商工課に用意してある借入希望調査書と同一補助票二部に必要事項を記入して同課工業係に提出してください。

なお不明な点は、商工課工業係(67-11-11内線三二)までお問い合わせください。

引揚者特別交付金の申請 今月三十一日まで

引揚者特別交付金の申請期限は、今月三十一日までとなっています。

この期間内に申請しない方は、交付金の請求ができませんので、該当される方は、必ず市の福祉事務所で手続きをおとください。

支給の対象となる方は、昭和二三(一)～(三)へお問い合わせください。

十月八日(終戦日)以前に一年以上外地に居住していた事実を証明するものがなければなりませんので、ご注意ください。

詳しくは、市役所福祉事務所社会福祉係(67-11-11内線三二)へお問い合わせください。

心身障害者扶養年金制度 二十六日に加入説明会

扶養者がなくなった後の心身障害者の生活安定と福祉の向上を推進するため、千葉県では心身障害者扶養年金制度を四十四年から実施しましたので、次のおり説明会を行います。

この制度が四月から施行されることになり、加入資格や条件等が拡大されたこと、また、次のおり説明会を実施することになります。

ママさん 柏葉クラブ 県予選で準優勝

去る三月一日、千葉十大会育館で行われた第一回全国家庭婦人バレーボール大会千葉県予選会にて柏市から出場した柏葉クラブが健闘、出場十七チームのうち八位の準優勝の栄冠をかちえました。

柏葉クラブは、二月から始まったバレーボールのスポーツ教室で、指導者として活躍されたもので、今度の大会出場は、このスポーツ教室のプログラムのひとつとしてのもので、

チームの指導者である宮下和子さん(34歳、千代田三)は、



市長に熱戦の戦況を語るママさん選手

「初めての対外試合でしたが、まさかこんな成績をあげられるとは思っていませんでした。今度の成果は私たちの努力もさることながら、家庭内での主人や子どもへの理解と、一層に練習したみんなの力が合わさったのだと思います。」

市内には、町会や学校単位のママさんチームが十八ありますが、

鍛冶屋踏切廃止に 未加入者でも加入を希望される方は

常磐線複々線工事の進捗に伴って、三月二十四日から鍛冶屋踏切(柏字駒込)は廃止になり、新田踏切は、簡易線橋(幅三・五米、軽車通行可能)に代り、利用の際十分ご注意ください。

県立柏高等学校 開校も間近に

高専進学者は全国的に年々増加していますが、市内の中学校でも昨年三月の卒業生でみると、高専進学者は、八十四パーセントの割合で、今年度はさらに増加するものと思われ、

市では、こうした進学者の増加に処し、入学難を緩和しようと、市議会を始め関係機関と一体になり高専設置を進めてきたが、既報のとおり、「県立柏高等学校」がこの四月に開校される

県北の状況を視察 友納知事四日に来柏

去る四日、柏、沼南、我孫子など発展する県北を視察に友納知事が訪れました。

折から降りしきる雪の中、柏には一時過ぎた朝霧、知事は早速、市長から急速に伸びる市の現状の説明を受けたあと、県上に誇る総合運動場など市の施設、建設が進む県立高校、市民会館、御苑市場予定地、柏駅前などを一巡し、



市長とともに雪の中第二尿処理場を視察する友納知事



仮校舎の建築進む柏高校

ガンバレ、巣立つ若人 勤労青少年ホームで激励会

この春、勤労青少年ホームで中学を卒業し、この春に就職する若人(一八八名、男子八七名、女子六一名)を招いて激励会が行なわれました。

この会は毎年、柏地区職業連絡協議会と市の共催で行なわれるもので、市内の中学校で、就職が決まった生徒を迎え、励まそうというものです。

主に柏、松戸地区に就職が決まり、明るい表情で列席した若人を前に市長も「社会に出て、要領よりも、まず誠実に歩んでください。それが豊かな人生を送る心構えといえます。」と、はなむけの言葉を贈りました。



また、光中の辻村ヒロ子さんが代表して「これからは力強く進みたい」と奮いの言葉を述べ、この会場で激励を受ける若人達

柏駅改築工事 3月7日に起工式

去る三月七日、柏駅舎の改築工事起工式が駅構内で行なわれ、山澤市長が起工式を行いました。

この駅舎改築は、先号でお知らせしたとおり常磐線複々線化にもなっており、着工されたもので、これが完成すると、中二階付き三層造りの橋上駅舎が誕生、発展する柏市にふさわしい玄関となります。

市ではこれと同時に東口周辺の都市再開発を進めており、五千三百平方メートルの駅前広場を中心とした新しい市街地に生まれ変わります。



柏駅改築起工式でクワ入れをする市長

大青田に 青年館誕生

市内15番目に完成した新青田青年館

青年のグループ活動や職業訓練など地域の人々に親しまれ利用されている青年館が、市内にはすでに十四館ありますが新しく新青田青年館が、去る七日に竣工、さらに大青田青年館が月末までに完成します。

新青田青年館は、大青田字頭あり、木造家建、建築八十一・三平方メートル、中には、集会所や卓球などができる四十九・六平方メートルの集会所などがあります。

また、大青田青年館は、大青田字大宮に、木造家建、九十一・三平方メートルで工事急いでおり、六十四・五平方メートルの集会所があります。



子ども映画会

春休みをむかえた児童生徒の健全育成に、市では、市の教育委員会では、子ども映画会を今月二十二日(日)午前十時から十二時まで、午後二時から四時まで、二回に分けて市民会館で行ないます。

上映する映画は、文部省選定の長編漫画映画「ホルスの大冒険」です。

入場無料ですので父兄同伴でおいでください。

四月会員募集 あるく市民教室

マイクロスコープで市内を案内する「あるく市民教室」四月会員を次のとおり募集します。

今回は四月十七日(金)に北回りコースで行なう予定で費用は一切無料です。ご希望の方は、四月五日までに往復ハガキで柏市柏五丁目十番一号柏市役所市長公室広報課までお申し込みください。日給 千六百円

待遇その他詳細については、市役所総務部人事課(67-11-11内線三二五)へお尋ねください。

市役所 職員募集

募集しています。

○階級 二等陸・海・空士

○待遇 衣・食・住支給のほか、初任給月額二万五千元、各種手当(賞与(年三回)退職金あり)。

○特典等 各種専門技術の免許取得の機会豊富、通学・通信教育も受けられます。

○応募資格 十八歳から二十五歳未満の男子(陸上は女子可)

健康診断には万全を期しており、各種厚生施設も完備しています。

希望者は市役所総務部市民課(67-11-11)へおいでください。

有線放送事業 廃止について

昭和三十三年に発足して以来、加入者の皆さんに深く愛されてきた柏市の有線放送事業は、最近の公社電話の普及などから、加入者数、通話数ともに非常に減ってきており、最盛期と今年の二月末の状況を比べると、加入者数で約半分の千三百二十六戸、通話数で、一日一戸当たり〇・二八回と四分の一になっています。

このため、財政的にも事業の運営が困難となってきました。

このほか、施設も老朽化し、交換手の不足も困難になるなどあり、今年三月三十一日、有線放送事業を廃止するため、開会中の三月定例市議会に議案を提出していますので、ご協力くださるようお願いいたします。

市へ救急車を寄贈 助けられたお礼に

—寺嶋さん—

去る二月二十四日、寺嶋義一さん(49歳、柏四丁目五番九号)から市へ救急車一台、B型百六十五

万田相当が贈られました。

寺嶋さんは、病気のため長期療養中でしたが、今年一月、自宅に帰ったところ、風邪をこじらせて急に病状が悪化、至急入院を必要とし救急車の出動を求めました。

このため直ちに救急車が出動、市内の病院に収容されましたが、寺嶋さんは「おかげで適切な治療を受けることができ、一命をとりとめた思いです。救急車がふえればもっとたくさんの方が救われるのでは」と、今回の寄贈になったものです。



寺嶋すぎさん(左端)から寄贈を受ける市長と贈られた救急車

たばこなら

あなたが市内でタバコを買うと、年間1億4,615万円ものタバコ消費税が市に入り、公共施設の整備に使われます。

市内の店で買いましょう